

Economic Indicators

定例経済指標レポート

テーマ：景気動向指数（2011年11月）の予測

発表日：2011年12月28日（水）

～均せば横ばい圏内の動き～

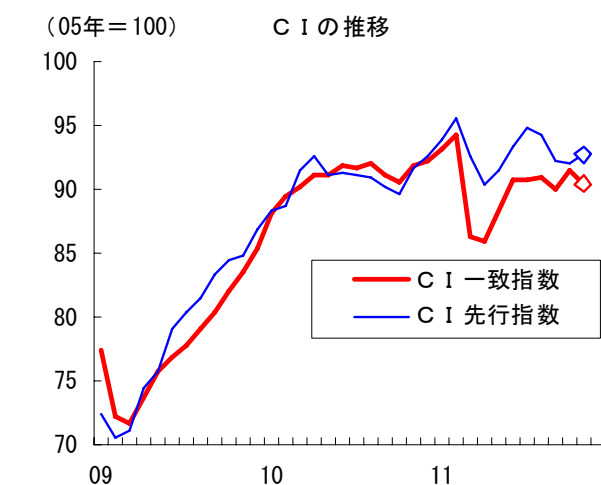
第一生命経済研究所 経済調査部
担当 主席エコノミスト 新家 義貴
TEL:03-5221-4528

○ C I 一致指数は2ヶ月ぶりの低下。先行指数は4ヶ月ぶりの上昇が見込まれる

内閣府から1月11日に公表される2011年11月の景気動向指数では、C I 一致指数は前月差▲1.0ポイントと、2ヶ月ぶりの前月差マイナスが予想される。サプライチェーン復旧に伴う急回復局面の一巡、②海外経済の減速に伴う輸出の足踏み等を背景として、均してみれば横ばい圏内の動きとなっている。また、11月はタイの洪水も一時的な下押し要因になった模様である。

先行きについても、タイの洪水による落ち込みからの生産復旧が予想される一方、海外経済の減速、円高の持続などを主因として輸出の足踏みが続くとみられることを考えると、C I は均せば横ばい圏内で一進一退の状況が続く可能性が高いと予想される。なお、一致指数の内訳では、耐久消費財出荷指数や生産指数、小売業販売額などのマイナス寄与が大きい。また、内閣府によるC I 一致指数の基調判断は、前月と同じく「下げ止まり」になるとみられる。

C I 先行指数は前月差+0.9ポイントと、4ヶ月ぶりの上昇が予想される。内訳では、新規求人数、鉱工業生産財在庫率指数、最終需要財在庫率指数などのプラス寄与が大きい。



(注)2011年11月は第一生命経済研究所による予測値